

# 専攻ポロ

No.293

大会結果 予定は休校ホームページ(専攻ホームページ「スポーツ」からログイン)で確認ください  
専攻ホームページ http://sensuop.web.fc2.com/ 専攻ホームページ「専攻ポロ」を配信しています

## 相撲・東日本学生 個人体重別選手権



▲ 全国学生個人体重別でも活躍が期待される小池

東日本学生相撲個人体重別選手権が7月25日、東京・靖国神社相撲場で行われた。最高気温34度という炎天下、土俵上では激しい戦いが繰り広げられ、115kg未満級で小池辰彦(経営4・水戸農業高)が準優勝。135kg未満級でベスト8入りした蒲田勝太(商3・専大松戸高)と共に全国学生相撲個人体重別選手権への出場権を得た。

## 小池、115kg未満級で準優勝

### 蒲田と共に「全国学生」へ

「準優勝できると思ってもみなかった。暑さには強いので、気候も自分に味方してくれた」と語った。惜しくも優勝は逃がしたが、次につながる内容だった。

蒲田は「全国学生選手権に出場できることになって良かった。もっと前に出ていけるよう、これからも頑張りたい」と意気込みを見せた。(土屋 杏有美・文2)

## 卓球・関東学生選手権<女子>

# 高・原ペア優勝<ダブルス>

## シングルス・高は準優勝



▲ 女子ダブルスで優勝した高(右)・原ペア

関東学生卓球選手権が高が準優勝した。7月6日から9日まで、東京・駒沢体育館で行われた。高は準優勝、原ペアはダブルスで優勝した。シングルスでは高が準優勝、原ペアはダブルスで優勝した。

## 日本代表・庄司が活躍

### 二本勝ちでチームに貢献

日韓学生剣道親善試合が7月11日、明大和泉体育館で行われ、日本代表選手として庄司佑也(法4・安房高)が出場した。二本勝ちでチームに貢献した。

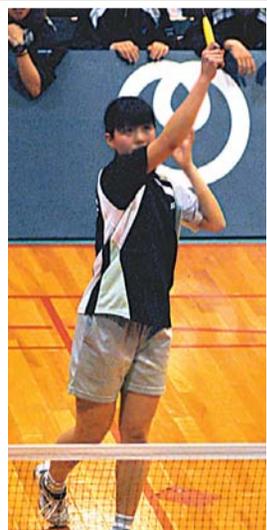
「試合は両者譲らず、結果は1勝1敗と星を分け合った。やりがかった。最初から気持ちを強く持って試合に臨めた」と話した。(山口 高弘・商3)

## 世界へ羽ばたく

今年も多く選手たちが国内大会で結果を残し、世界の舞台へ羽ばたく。国際大会に出場した選手、これから大きな戦いを控えた選手を紹介する。

### ● バドミントン部・田村千秋

## 2度目の世界戦で意欲増す



9月7日から12日まで台湾・台北市で行われる世界学生バドミントン選手権の日本代表に田村千秋(文4・昭和学園高)が選出された。2年連続に出場し、2回目の出場。「選ばれる時は不安よりも、また世界の舞台に立てるのだという楽しみの方が

## 体育会の地域貢献活動

# ONE DAY TEAMMATE 2010

21部と2サークルが参加



▲ 小学生に基本を教えるバスケットボール部員

7月10日に行われたキックボクサーサイズ。汗を流した。参加者からは「大学生は優しく、教え方が上手だった」(小5男子)、「教わったことを今後の練習にもつなげていきたい」(小6女子)などの感想が寄せられた。(天津)

## 国際大会出場

### 選手の横顔

秋の全日本学生選手権で2年連続で団体戦準優勝という悔しい結果に終わっており、田村や安藤真里(主将)が4・西条農高を中心に、今年こそ大学日本一を目指す。

### ● レスリング部・竹田展大、馬場貴大

レスリングの世界ジュニア選手権が7月20日から25日まで、ハンガリー・ブダペストで行われ、専大からはフリー50kg級の竹田展大(経済1・三井高)と同96kg級の馬場貴大(経営1・島原高)の2人が出場した。竹田は7月のアジアジュニア選手権で3位入賞を難しさを話した。この経験は2人にとって次に



▲ 竹田 展大(上)



▲ 馬場 貴大

卓球のUSオープン大会が6月28日から7月5日まで、米国・ミネソタ州で行われ、専大からは原ちひろが出場した。加藤亜里沙(大正大)とのペアで出場したダブルスは、第1ステージの2回戦でインド代表のペアと一緒に頑張っていた。シングルスは予選リーグ2勝1

## 貴重な経験、今後に生かす

「課題の残る試合になったが、この経験を国内大会に生かしていきたい。8月の全日本大学総合選手権ではみんなと一緒に頑張りたい」と話した。(山口)



黒石 沙也佳

9月9日から11日までの3日間、福島県の棚倉待ち望んでいるようだ。また、「どんな相手だろうと負けたくない。自分の持つ力を出して優勝したい」(梶原)、「高いレベルの試合になると思うが、周りの選手にまどわされず、自分のプレーをしたい」(黒石)と抱負を語った。団体戦では男女ともに団体戦の出場を逃したものの、関東学生ゴルフ連盟の推薦で2人の個人戦の出場が決

## 初の日米戦、自分のプレーを

「ゴルフ部・梶原英明、黒石沙也佳」  
2人とも国際大会は初めて。海外選手との対戦について梶原は「楽しみ。これからの大会に向けて良い経験になると思う」、黒石は「どんなレベルの試合になるのか分からない。2人とも国際大会は初めて。海外選手との対戦について梶原は「楽しみ。これからの大会に向けて良い経験になると思う」、黒石は「どんなレベルの試合になるのか分からない」。

ながる有意義なものとなった。現在は8月26日から始まる全日本学生選手権に照準を合わせる。「上位に食い込めるよう、先輩たちと一緒に頑張りたい」(竹田)、「調子は上がってきているので優勝を狙います」(馬場)と力強く意気込みを語った。(天津)